

□利用実証提案書
■利用実証計画書

平成 27 年 10 月 21 日 Ver.1

テーマ	長期間静止測位を継続した場合の測位精度挙動実証実験	
実証参加機関 (共同機関)	SPAC	
目的	定点及び移動測位を L1-SAIF,CMAS の各々の補強信号により測位結果を観測実施し、補強信号の有効性を評価する。	
期間	全体	2015 年 12 月 24 日 9 時～17 時(第一次評価) 2016 年度は第二次評価(詳細は別途調整・相談の上決定)
	時間・頻度	●時間:9 時～17 時 ●頻度:移動測位、定点測位(VRS と TS で実施)
実施場所	場所を選定中	
構成	●システム全体構成 詳細は次紙参照	
内容	●定点及び移動測位を L1-SAIF,CMAS の各々の補強信号により測位結果を観測実施し、補強信号の有効性を評価する。尚、複数の定点で VRS と TS で測位した結果を基準として、上記観測データと比較を行う。	
受信信号	●使用する測位信号名を記載 ・GPS:L1C/A、L2P ・QZS:L1C/A、L2C、LEX(CMAS)、L1-SAIF	
受信設備	●使用する測位信号受信機などを記載 ■貸与品目/数(LEX/LEXR 受信機一式,QZNAV2個) ■持込品目/数(汎用受信機一式)	
ソフトウェア	●測位結果確認ソフトウェア □ソフトウェア名称/概要	
実証前の要求事項		
実証時の要求事項		
実証後の要求事項		
その他		

構成

